

URAYASU

職員採用案内 2019

U r a y a s u C i t y R e c r u i t m e n t



私たちの
働く「幸せ」が、
この街にある

Contents

市長からのメッセージ / 市のプロフィール
浦安市の組織 / 給与、勤務時間・休暇 / 管理職・先輩職員からのメッセージ
まちの特徴 / 採用試験について / Q&A



市長からのメッセージ

「発展」から「成熟」へ

浦安市長 ◎ 内田 悦嗣

本市が豊かな財政や市民力、そして恵まれた環境を原動力として、全国に名の通る魅力あるまちとして発展したのは、先人たちの努力の賜物であり、市民の皆様が主体となったまちづくりの成果であると思っています。

昭和37年に漁業権の一部を放棄し、昭和39年から海面埋め立て事業が始まると浦安は大きく姿を変えていきました。昭和46年に漁業権を全面放棄して第2期海面埋め立て事業が行われた結果、総面積はかつての4.43平方キロメートルの約4倍の16.98平方キロメートルに拡大し、急速に都市化が進んでいきました。以来、浦安は東京ベイエリアを代表する都市として発展を続けてきました。

現在は、発展の礎となった埋立地での開発が終盤に差し掛かり、これまでのまちを開発していく「発展期」から、まちを維持更新していく「成熟期」を迎えています。

成熟のなか、成長を続けるために求められるのは、本市を取り巻く環境の変化に対応したまちの再構築、すなわち「リノベーション」であると私は考えています。



浦安市在住で、日本を代表するパラリアンである京谷和幸さん（現：車いすバスケットボール男子指導者）とスポーツを通じたまちづくりについて語り合う内田市長

「若いまち」と言われる本市においても、高齢化の進展に伴い、人口構造が変化しつつあり、福祉、医療、介護、子育て、教育など、市民一人ひとりの生活に直結する課題につきましては、こうした変化を的確に捉え、きめ細かなサービスを提供していく必要があります。そのため、浦安市職員には、さまざまな行政課題を決して一つひとつ独立したものとして捉えるのではなく、常に総合的な視点を持って解決に取り組んでほしいと考えています。

誰もが自分のライフスタイルを実現できる“市民が主役のまちづくり”の実現に向けて、熱意をもって、全力で取り組める人材を求めています。皆さんのチャレンジをお待ちしています。



災害の発生を想定した防災訓練を実施。災害が発生した場合は市長の指揮命令により、応急対策活動を行います。

浦安市のプロフィール

浦安市は、千葉県の西部に位置し、東と南は東京湾に面し、西は旧江戸川を隔てて東京都江戸川区と相対し、北は市川市と接しています。

東京に隣接しているながら、三方を海と川に囲まれた「陸の孤島」であったため、戦前までは大きな発展はありませんでしたが、昭和39年から始まった埋め立て事業により総面積はかつての4.43km²から約4倍となる16.98km²へ拡大し、急速に都市化が進みました。

昭和58年に大型テーマパークがオープン、周辺地区に大型リゾートホテルが建設され、国際色豊かなまちになりました。昭和44年に地下鉄東西線が、昭和63年にはJR京葉線も開通し、市民の半数が東京23区内に通勤するなど交通面で利便性も高いことから、東京ベイエリアを代表する都市として発展を続けています。

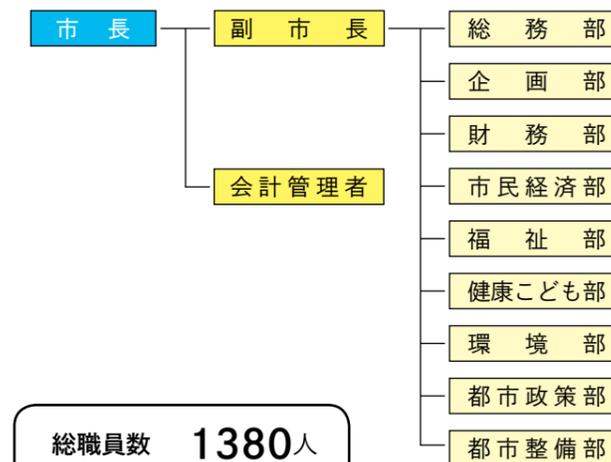


面積	16.98 km ² (県内37位)	人口	166,347人 (県内11位)	人口密度	9,615.4人/km ² (県内1位)	財政力指数	1位 (全国814市区中)	※千葉県HP参照 (平成28年度現在)
----	----------------------------------	----	---------------------	------	------------------------------------	-------	------------------	------------------------

浦安市の組織

(平成31年4月1日現在)

市長部局



総職員数 1380人

消防

消防本部

教育委員会

教育総務部
生涯学習部

選挙管理委員会

事務局

監査委員

事務局

議会

事務局

給与、勤務時間・休暇

(平成31年4月1日現在)

初任給
(給料+地域手当
(給料の12%))

	大学卒	短大卒(2年制)	高校卒
下記以外の職種	209,664円	183,904円	171,360円
消防職	217,280円	190,512円	177,296円
幼稚園教諭	232,736円	213,920円	—

諸手当

- ▶ 毎月支給される手当
通勤手当、住居手当 (最大27,000円)、**時間外勤務手当** (勤務実績に応じて支給) など。
- ▶ 特定の時期に支給される手当
期末勤勉手当…給料+扶養手当+地域手当をベースに4.45月分の給与額。
児童手当…中学生以下の子供がいる職員に対し年3回支給。
退職手当…退職時に支給。金額は在職期間等により決定。

健康管理

定期健康診断(年1回実施)、各種検診、専門医などによる健康相談。

福利厚生
事業

共済組合や浦安市職員互助会で様々な補助事業を行っています。
怪我や病気で働けなくなった時…傷病手当金、傷病見舞金。
出産・子育て補助…出産費付加金、出産祝金、育児休業手当金。
健康への補助…人間ドック利用助成など。
その他…業界最大の福利厚生サービス企業から提供される様々な特典が利用可能。その他、映画・野球などチケットの割引や夏季には宿泊施設の借上げを実施予定。

勤務時間
・休暇等

勤務時間…午前8時30分～午後5時(週38時間45分勤務)。
休暇…有給休暇として、年次有給休暇及び結婚、忌引、出産などの特別休暇。
その他…育児休業や部分休業、介護休業制度。

管理職インタビュー 01

育ったまちで長く勤められる仕事



市民経済部長

橋野 まり子

はしの まりこ

昭和56年入庁

▶ なぜ浦安市の職員を選んだのですか？

私は浦安で生まれ育ちました。子どものころは学校の先生になりたいという夢もありましたが、女性でも長く勤められる仕事として、両親から地方公務員を勧められたことがきっかけです。当時はまだ浦安町で、町役場の職員採用試験を受けました。仕事を始めた昭和56年4月には市に移行したこともあり、市制施行のための仕事が忙しく、皆が毎日残業していた時期でした。

▶ これまでどんな仕事をしてきましたか？

最初に配属されたのは、職員課という部署で職員の給料計算や福利厚生に関する仕事をしていました。その後、教育委員会や児童福祉、障がい福祉の仕事に携わってきました。平成21年に課長に昇進しましたが、当時、女性管理職は部長の女性と私しかいなかったと思います。これまでで一番印象に残っているのは、障がい福祉関係の課長をしていたときに起きた東日本大震災です。福祉施設から帰宅できなくなった方を一晩施設の中でお預かりした日のことは忘れられません。

▶ 今どんな仕事をしていますか？

市民経済部は、自治会や国際交流を担当する地域振興課、NPOなどの市民活動支援を行う協働推進課、商工業の振興・観光に関する商工観光課、防犯・交通安全に関する市民安全課、戸籍・住民票などの手続きを行う市民課などで構成されており、市民生活に近い仕事が集まっています。

▶ どんな人がこの仕事に向いていますか？

公務員に限りませんが、組織で働くうえでは協調性や誠実な人柄がまず第一に求められます。また、市役所で働くということ言えば、何事も市民目線で考えられる人ということになります。例えば、大規模災害発生の際には、24時間365日万が一に備えての対応が求められます。防災担当だけでなく、どこの部署であっても市民の安全に寄与し、必要があれば駆けつけるという姿勢が必要になります。

▶ こんな人と一緒に働きたい

2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けて浦安市の観光や文化の魅力をこれまで以上に発信していくということが、市としても大きなテーマであり、市民経済部の役割だと考えています。そうした仕事に、明るく、前向きに、一生懸命に取り組む方と一緒に仕事がしたいですね。浦安市は男女共同参画社会の実現に向けて先進的に取り組んでいますので、男女を問わず優秀な人材の入庁を期待しています。

先輩職員インタビュー 01

日々の厳しい訓練を経て、火災・災害現場で責任を全うする



消防署 消防士

大塚 純也

おつか じゅんや

平成27年入庁

▶ 今どんな仕事をしていますか？

本署の警防係救助隊に所属しています。火災をはじめとした災害現場や、その他さまざまな場面で救助活動に当たるのが主な仕事です。消防隊がホースを持って消火活動にあたるそばで、逃げ遅れた人を救出することもありますし、ロックがかかって建物の中に閉じ込められた人を救助することもあります。出勤がない日も万が一に備えて待機したり、厳しい訓練に明け暮れています。

▶ 仕事への心構えを教えてください

自分の能力によって人の生死が左右されるという仕事柄、やはり責任は重いという自覚があります。また、災害現場は危険も多く、自分の命にも関わってくるため、隊員同士の信頼関係や意思疎通も重要です。常日頃の訓練でも、技術面だけでなく、常にそうしたことを意識して取り組んでいます。絶対に人の命を助けるという気持ちでやっているのだから、それができたときはうれしさよりも安堵の気持ちでいっぱいになります。

▶ 受験生に向けたメッセージ

市の仕事といっても、職種によってさまざまですが、「浦安市のために働く」という意識は全員共通していることだと思います。皆さんもそれを踏まえて入庁されると思うので、よりよい浦安市にしていくために、一緒に頑張りましょう。私は消防士としてどんなに困難な場面に遭遇しても、人を助けることをあきらめずに頑張る熱い気持ちで働いています。同じ熱い気持ちを持った人と一緒に働けたら幸せですね。



管理職インタビュー 02

市民のニーズをつかみ、政策・まちづくりで地域貢献



復興事業課長

玉野 広宗

たまの ひろむね

平成4年入庁

▶ なぜこの仕事を選びましたか？

父が公務員として千葉県のとある市役所で働いていたので、この仕事に親近感がありました。「安定性も貢献性も高い」という親の勧めもあって市の職員を志望しました。私の就職活動はバブル期終盤でしたが、周囲に流されず堅実な道に進んで良かったと思います。浦安市は身近なまちでしたし、市民や地域のため、社会のために役立つ仕事ができること、自分たちの施策が市民の声や反響となって返ってくる点でも魅力とやりがいを感じました。

▶ これまでどんな仕事をしてきましたか？

最初は図書館や公民館での市民サービスの窓口として、子どもからお年寄りまでを対象にイベント企画や教室開催など直接触れ合える仕事を10年経験しました。その後は行政の中核でもある財政課で市の予算を管理する仕事を6年、教育総務課で学校予算の決済や備品調達業務などを4年経験しました。その後、再び財政課に配属され市の予算・決算管理、直近では人事課で2年、市民スポーツ課で1年スポーツ施設の維持管理やスポーツの普及・推進も行いました。

▶ 今はどんな仕事をしていますか？

現在所属する復興事業課は、東日本大震災からの復旧・復興を一層加速するための使命を帯びた部署になります。課長という役職を拝命し、職員と一緒に足並みを揃えて事業推進を図り、市民や関係者の声も拾って合意形成やまとめ役として頑張っていこうと思っています。これまで市民と直接関わった経験、また職員と深く関わった経験も生かし、事業を前に進めながらより地域に貢献していけたら幸いです。

▶ どんな人がこの仕事に向いていますか？

誠実かつ実直な性格で、市民のために何かをしたいという人が市の職員には向いていると思います。具体的には浦安市近辺に生まれ育って、子どもの頃からこの地域が好きで、地域のために何かをしたいという郷土愛のある人や、他の地域の出身者の人でも外部から浦安を見て、こんな魅力があるから発信してみたいとか、こんな政策によって地域の可能性を引き出したいなど、そんなアイデア豊富な人もいいですね。

▶ こんな人と一緒に働きたい

浦安という地域をより良くしていきたいという思いと意欲が第一です。特に明るく元気で活発な人、バイタリティ旺盛で人とのコミュニケーションを惜しまないタイプの方と働けたら最高です。今は公務員だから安泰、ではありません。市民の話を聞いてニーズをつかみ、市民のためになる政策立案やまちづくりにつなげようという熱意と行動力が大切です。いろいろな部署を経験するので、専門に固執しない柔軟性と適応能力にも期待したいと思っています。

先輩職員インタビュー 02

子どもたちの成長や喜びを皆で共有できることが魅力



高洲保育園 保育士

田代 桜子

たしろ さくらこ

平成29年入庁

▶ 今の仕事のどんなところが魅力ですか？

大学では保育と関係のないことを学んでいましたが、保育園でのアルバイトをきっかけに保育士になりました。この仕事は、子どもたちの成長を見届けられることが一番の魅力です。例えば三輪車のペダルをこげるようになったり、ガラガラうがいができるようになったり、子どもたちの「できた！」という瞬間をたくさん見ることが出来ます。それを子どもと一緒に喜んだり、同僚や保護者の方と喜びを共有することは何よりの魅力です。

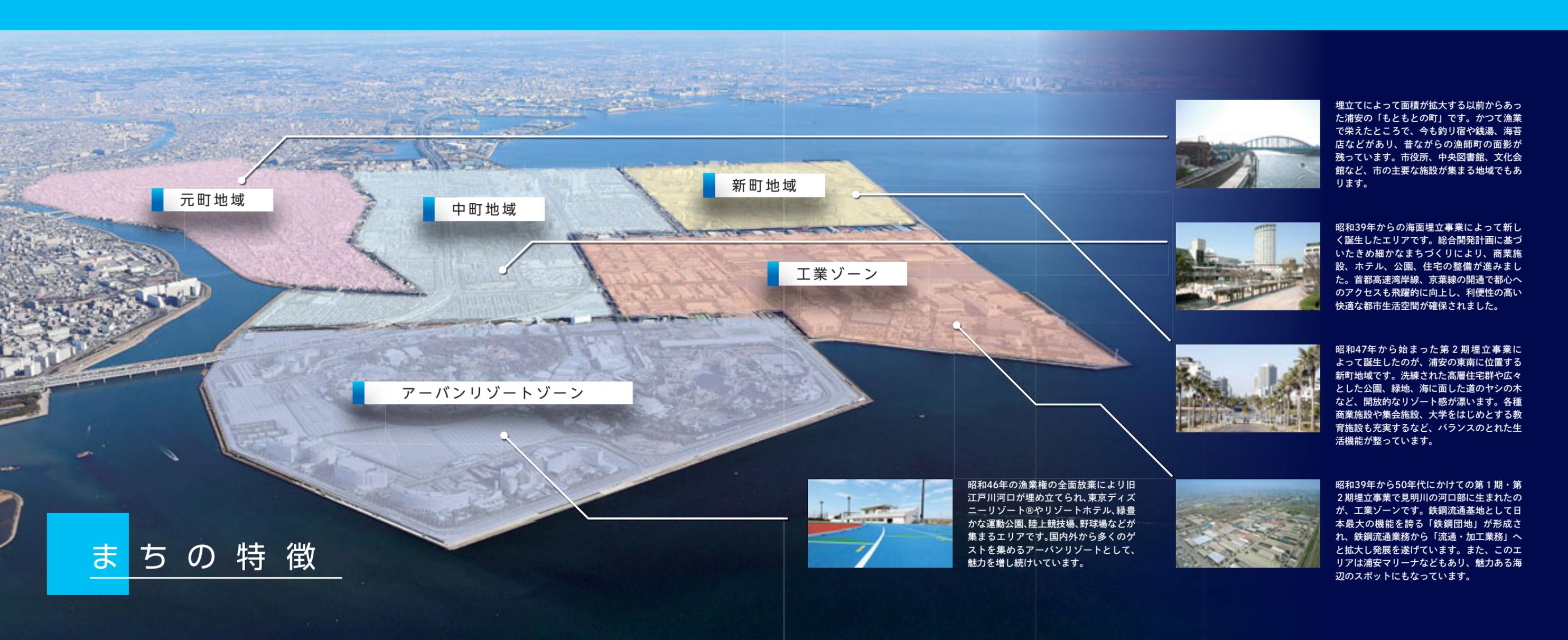
▶ 仕事への心構えを教えてください

小さな命を預かる仕事であり、食物アレルギーの有無の確認なども確実にを行うようにしています。登園時と同じ状態でお子さんを保護者の方にお返しすることがベストだと思うので、保護者の方と情報共有を行い、常に健康状態の確認を怠らないようにしています。中には家庭よりも保育園で過ごす時間が長くなるお子さんもいますので、少しでも安心・安全に保育園での時間を楽しく過ごすことができるように心がけています。

▶ 受験生に向けたメッセージ

浦安市はファミリー層も多く、子育て支援に重点を置いていますので、保育士が活躍できる場所は多いと思います。それぞれの職場は自分が成長できる環境にあり、ぜひ一緒に学びながら働ければと思います。私自身は第一に子どもたちの気持ちを理解して、保護者の方の気持ちにも寄り添える保育士になりたいと考えています。ぜひ皆さんと一緒に、働くお母さん、お父さんの強い味方になりましょう。





まちの特徴



埋立てによって面積が拡大する以前からあった浦安の「もともとの町」です。かつて漁業で栄えたところで、今も釣り宿や銭湯、海苔店などがあり、昔ながらの漁師町の面影が残っています。市役所、中央図書館、文化会館など、市の主要な施設が集まる地域でもあります。



昭和39年からの海面埋立事業によって新しく誕生したエリアです。総合開発計画に基づいたきめ細かなまちづくりにより、商業施設、ホテル、公園、住宅の整備が進みました。首都高速湾岸線、京葉線の開通で都心へのアクセスも飛躍的に向上し、利便性の高い快適な都市生活空間が確保されました。



昭和47年から始まった第2期埋立事業によって誕生したのが、浦安の東南に位置する新町地域です。洗練された高層住宅群や広々とした公園、緑地、海に面した道のヤシの木など、開放的なリゾート感が漂います。各種商業施設や集会施設、大学をはじめとする教育施設も充実するなど、バランスのとれた生活機能が整っています。



昭和46年の漁業権の全面放棄により旧江戸川河口が埋め立てられ、東京ディズニーリゾート®やリゾートホテル、緑豊かな運動公園、陸上競技場、野球場などが集まるエリアです。国内外から多くのゲストを集めるアーバンリゾートとして、魅力を増し続けています。

昭和39年から50年代にかけての第1期・第2期埋立事業で見明川の河口部に生まれたのが、工業ゾーンです。鉄鋼流通基地として日本最大の機能を誇る「鉄鋼団地」が形成され、鉄鋼流通業務から「流通・加工業務」へと拡大し発展を遂げています。また、このエリアは浦安マリーナなどもあり、魅力ある海辺のスポットにもなっています。

先輩職員インタビュー 03

仕事と子育てを両立できる組織風土を実感



教育総務課 主任主事
森 温子
もり あつこ
平成22年入庁

▶ なぜこの仕事を選びましたか？

前職は民間企業で、法人向けの仕事に従事していました。充実はしていましたが、慌ただしい生活でした。女性として結婚・出産しても長く働きたいと考えた時に、産休・育休制度を利用しやすい環境が整備されている市役所という組織での仕事を選びました。市の仕事は市民の顔が見えますし、自身の生活にも深く関わるので興味、関心をもって長く働けると実感しています。特に財政力があり、若くてもいろいろなことに挑戦しやすい点に魅力を感じたため浦安市を志望しました。



▶ 育児休業を取得した感想は？

出産・育児は、家族はもちろん職場の理解や協力が必要不可欠です。浦安市では子育てに関する制度が整備されており、子育てに対する職場の皆さんの理解もあり、制度を活用しやすい環境が整っています。私も産休と育休を約1年取得後、短時間勤務の制度も活用しました。産休・育休をとった先輩も多いので相談しやすく、復職もスムーズにいきました。日頃から密にコミュニケーションを取ることで業務の引継ぎも円滑にいき、安心して働けると感じています。

▶ 受験生に向けたメッセージ

私は入庁後、こども課や市民大学、人事課の事務を経験しました。今は小・中学校関係の予算管理や備品調達といった仕事を担当しています。どの部署も若い頃から責任ある仕事を任せられ、挑戦できる組織風土があると感じています。浦安市は面積が約17km²とコンパクトな街であるため、身近に市民の顔を見ることができ、きめ細やかなサービスを提供できます。市民の幸せや安全・安心のために役立ちたい、という思いのある方と働けることを楽しみにしています。

先輩職員インタビュー 04

企画・運営を通じて市民の皆さんと交流できることがやりがい



市民スポーツ課 主事
井上 俊
いのうえ しゅん
平成28年入庁

▶ 入庁前の印象との違いはどんなところ

現在はスポーツ振興に携わる部署で、より多くの市民にスポーツに親しんでいただくことで、市民の健康づくりのお手伝いをしています。市役所の仕事という入庁前にはデスクワーク中心というイメージを抱いていましたが、スポーツイベントなどの企画・運営などを通じて、直接市民の皆さんとふれあう機会もあり、自ら積極的に動き、さまざまな人と関わりながら進める仕事が多くあることに気づきました。

▶ 仕事で笑顔になる瞬間は？

スポーツイベントが無事に終わること自体うれしいことでもあります。それに加え、イベントに参加したことをきっかけに、競技を実際に始めたという方もいらっしゃるとうれしくなりますね。「パークゴルフを始めたらすごく健康になった」という高齢者の方の声であったり、「子どもたちが野球を始めて元気になった」という保護者の方の意見を聞くと、この仕事に携わって本当に良かったなと感じます。

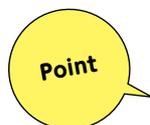
▶ 受験生に向けたメッセージ

私はもともと浦安市民ではなかったこともあり、入庁したころは浦安市について知らないことばかりでした。それでも、仕事を通じて浦安市について学んでいく機会も多く、元町、中町、新町がそれぞれ個性と表情が異なり、多種多様な魅力があることを知りました。浦安市の魅力度アップに向け、来年度入庁する皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



採用試験について

[令和元年度行政事務上級試験の場合]



Point 専門試験を廃止した「人物重視」の採用

平成28年度の職員採用試験から行政事務上級の専門試験を廃止しました。
従来必要とされていた特別な公務員試験対策のイメージをなくすことで、受験生の門戸を広げ、より人物重視の採用とし、多様な人材の確保に努めています。

Q & A

- Q** 行政事務上級の試験では、試験問題の程度が「大学卒」ですが、大学を卒業した人でないと受験できないという意味ですか？
- A** 「大学卒」とは、大学卒業程度の学力を必要とする試験という意味で、年齢などの受験資格を満たしていれば、学歴に関係なく受験できます。(行政事務初級等の試験も同様です。)
- Q** 浦安市出身でなければ、採用試験に合格しないのでしょうか？
- A** 住居地による採用試験の有利、不利は一切ありません。
- Q** 過去に出題された問題を見ることはできますか？
- A** 過去の出題問題は見ることはできませんが、受験案内に試験の内容と出題分野を載せていますのでご確認ください。
- Q** 採用後の人事異動のサイクルはどのくらいでしょうか？
- A** 人事異動は、職員の能力を開発するという目的と、知識や経験、適性に合った職場に配置することによって職員の能力や経験を最大限に生かす、という2つの目的を持って、適材適所の人事配置を実施しています。採用後、10年間は概ね3～5年サイクルで異動し、事業部門、内部管理部門を問わずさまざまな分野の部署を経験しながら能力を磨き適正を発見していきます。
- Q** 採用後の研修制度はどのようなものがありますか？
- A** 新規採用職員研修として、職務の基本的知識、効率的な仕事の進め方、ビジネスマナーなど、主に公務員としての心構えやスキルなどを学びます。2年目以降からは、各階層に応じた階層別研修や研修機関先に派遣して学ぶ派遣研修などの研修制度があります。